

1歳児の噛みつきについて

まずは、噛みつきは集団生活だから、起きることで、ご家庭では甘噛みするお子さまはいても、力強く噛みつくお子さまは少ないと思います。

そのために、園側で防げなかったことに関しましては深くお詫び申し上げます。

ただ、一瞬の出来事で防ぎきれないこともあります。最善は尽くしますが100%と防ぐことはできないことも事実です。

噛みつきは愛情不足から？

愛情たっぷりでも起きます。集団生活での人との関わりにおいての過程でおきます。

「噛みつく子」＝「困った子」ではなく、その子が感情を言葉で表現できるようになる途中であり、そこを育ていくのが保育士だと思っております。

実際に以前噛みつきがみられたお子様が言葉が話せるようになってからは、噛みつき

どうして噛みつきが起こるのか？

自我が芽生え始める1歳～2歳の時期には「こうしたい」「あれが欲しい」「自分でやりたい」などの欲求が強くなってきます。その中で、例えば自分の欲しいおもちゃを他の子が使っていた時、お友だちに何かをわかってほしいと思った時などに、言葉の代わりにとっさに「噛みつき」という行動が出てしまいます。また、噛みつきだけではなく、押す、叩く、引っ掻く、持っていた物を取り上げる

園としての方針

○噛みつかれたお子様について
すぐに手当てをし、痛かった気持ちを受け止めます。

保護者の方に状況をお伝えしお詫びいたします。

○噛みついたお子様について
理由が分かる場合には気持ちをうけとめ、噛んだら相手の子が痛いことを伝えます。頻度が高い時には、個人面談等で伝えます。

1歳児の発達過程として

①気持ちを言葉にできない

月齢差もあり、まだまだ、言葉にできないお子様もいます。

②かかわり方がわからない

0歳児クラスから、園でも言葉と身振りを交えて、「かして」「どうぞ」「ありがとう」は繰り返して、伝えておりますがまだまだ未熟です。

③発達のメカニズム

人間の体は、「中心から外側」「上から



至らぬ点あると思いますが、担任一同、お子様の安全安心を一番に取り組んでおります。そして、何よりお子様が笑顔で過ごせる園を目指しております。ご意見等がございましたら、このコメント欄にお書きください。

園長 村上律子